

# 千曲市辺地対策総合整備計画

平成31年度 ～ 平成35年度

(2019年度 ～ 2023年度)

平成 30 年 12 月

長野県 千曲市



## 千 曲 市 の 概 要

平成 15 年 9 月に更埴市、埴科郡戸倉町、更級郡上山田町の 1 市 2 町が合併して誕生した千曲市は、長野県北信地域の南東部に位置し、長野市・坂城町等に接し、東西を緑豊かな山林に囲まれ、市のほぼ中央を南東から北東に大きく蛇行しながら千曲川が流れています。標高は平地で 360 メートル、市域面積は約 120 平方キロメートル、気候は典型的な内陸性気候を有しています。

古くは「科野の国」の交通・文化の中心地として、平安時代から江戸時代には文人墨客の憧れの地「さらしな」として知られ、国指定の史跡「埴科古墳群 森將軍塚古墳」や名勝「姨捨（田毎の月）」・重要文化的景観「姨捨の棚田」、稲荷山の「重要伝統的建造物群保存地区」、開湯 120 年を超える「戸倉上山田温泉」などが今日も息づいています。

他圏域との交流の基盤となる交通網は、首都圏と北陸圏を結ぶ上信越自動車道と中央自動車道につながる長野自動車道が結ばれる更埴ジャンクションや更埴インターチェンジが開設されており、北陸新幹線や JR 篠ノ井線、しなの鉄道線の沿線でもあることから「交通の要衝」となっています。その交通の利便性を活かし、精密加工業、食品産業の企業が多数立地しています。

各産業の従業者数の構成比を見ると、「製造業」と「卸売業・小売業」の従業者が多いという特徴的な傾向が現れており、従業者数の変化では、第 1 次産業が減少している一方、第 3 次産業の増加が著しく、特に「医療・福祉」分野が増加しています。

また、千曲川の豊かな水によって育まれた肥沃な大地に恵まれ、トルコギキョウを中心とした花卉栽培、リンゴやブドウなど多品目の果樹栽培が盛んで、「一目十万本」といわれる「日本一のあんずの里」等観光と一体となった農業も営まれています。

千曲市の人口は平成 11 年の 64,766 人（推計人口）をピークに減少しはじめ、平成 27 年には平成 12 年比 4,251 人減の 60,298 人、年少人口比率は 12.3%、生産年齢人口比率は 56.3%、高齢化率は 31.4%となっています。

市民の居住地域は、千曲川両岸から山地との間に連続していますが、唯一、市西部の「大田原横手地域」が遠隔高地に位置し、辺地指定を受けています。

財政状況は、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 か年平均で税収比率は 27.7%、交付税比率は歳入全体比 27.0%、依存財源に占める割合は 44.9%となっています。

一方、平成 29 年度の歳出に占める割合が高いのは、普通建設事業費の 18.3%、次いで補助費等の 15.5%となっています。

### 【主な財政指標】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
実質公債費比率	7.0	7.1	7.3
経常収支比率	88.4	90.3	91.2
財政力指数	0.531	0.524	0.523

## 千曲市辺地対策事業の実施状況及び今後の整備方針

### 1. 辺地の状況

辺地名	人口 (人)	高齢 化率 (%)	面積 (K m <sup>2</sup> )	辺地 度 点数	辺地対策事業債 (百万円)					前計画時の 辺地名
					平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
おおたわら 大田原 よこて 横手辺地	125	48.0	13.5	112						大田原 横手辺地

### 2. これまでの辺地対策事業の実施状況

大田原横手地域では、昭和 55 年度から辺地対策総合整備計画を策定し、市道・林道の整備事業をはじめ、稲荷山公民館大田原分館、大田原簡易水道施設、大田原マレットゴルフ場などの各種施設整備を行うとともに、情報通信設備として光ケーブル・防災屋外告知放送システムを整備し、辺地とその他地域との間における住民の生活文化水準の格差是正を図ってきた。

平成 26 年度からの 5 か年計画では、生活環境の向上と自然環境の保全を図るため、合併浄化槽設置補助事業を計画したが、合併浄化槽の設置を希望する世帯がなかったことから設置補助は行わなかった。

### 3. 今後の辺地対策の考え方及び整備方針

山間地などの地域で、一定数の住民が居住しているにもかかわらず、交通条件などの諸条件に恵まれないため、市内の多くの公共、民間サービスの利益を享受しにくい現状である。

これらの地域において、市内他地区との生活環境全般にわたる格差是正と住民福祉の向上を図るため、引き続き道路・橋梁の改修、水路等の新設などインフラ整備を充実させるとともに、公共的施設などの整備を計画的に行う必要がある。

また、公共下水道、特定環境下水道及び農業集落排水の恩恵が得られない状況から、合併浄化槽の整備についても重点的に行う必要がある。

# 総合整備計画書

長野県 千曲市 おおたわらよこて 大田原横手辺地

辺地の人口 125人：面積 13.5K㎡

## 1. 辺地の概況

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 千曲市大字桑原大田原横手地区 |
| (2) 地域の中心の位置       | 稻荷山公民館大田原分館    |
| (3) 辺地度点数          | 112点           |

## 2. 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地域は、市の中心部から約11km離れ、標高差400m（標高750m）の遠隔高地に集落が形成されており、地理的要因により地域の経済的な支えとなる産業も育ちにくく、自然・経済・交通・文化的諸条件に恵まれない。

本計画により公共的施設、各種事業の整備拡充を行い、他の諸地域との生活文化水準の格差を是正する必要がある。

### (1) 除雪機械格納庫整備事業

本地区は他地区と比較し、標高が高く冬季の積雪が多い地域である。地域内の幹線道路の除雪作業は地域住民が行っているが、高齢化が進み、除雪作業に係る負担が増加している。

また、除雪機オペレーターの高齢化により操作技量が衰退し、除雪機械格納庫の点在や間口の狭さなどから、除雪作業の安全性に支障をきたすことが懸念されている。

このため、除雪機械の出入庫の負担を軽減し、除雪作業に安心して集中できるよう間口幅を考慮した除雪機械格納庫を一箇所に集約整備する。

### (2) 市道大田原中線道路舗装工事

当該路線は、地域防災に必要な不可欠な消防防災施設、避難場所として利用できる広場など集落の中心に通じており、集落の東西を横断する県道（小峰稻荷山線）と同様に中核的生活道路である。

このため、昨今の気象状況もふまえ、災害時に高齢者が安全・円滑に通行（避難）できるよう、また、緊急車両の通行が容易となるよう当該道路の舗装修繕を行う。

### (3) 林道整備事業

当該地域において、林道は他地区と繋がる重要な生活道路となっている。各林道の整備は地域住民の要望であり、災害時において当該地区が孤立しないよう整備を行う必要がある。

#### ① 林道権次郎線落石防止工事

当該路線は、大田原地区から長野市へ抜ける生活道路の一部であり、近道となっている。

現在、地山がむき出しになっていることから落石が頻繁に発生し、通行する者にとって非常に危険な状況となっており、落石の規模によっては通行止めとなる恐れがある。

また、道路勾配が谷側についているため、降雨時に路面排水が山側へ流れ、路肩の崩落の恐れがあることから落石防止等の整備を行う。

#### ② 林道不動滝線法面整備事業

当該路線は、桑原西地区から樺平保健休養地を通り長野市大岡や麻績村へ通じる路線となっており、路線の途中には千曲市の市営水道の浄水場や水源地に繋がる林道もあり、地域の重要な路線に位置付けられている。

現在、地山がむき出しになっており、強雨の度に落石が林道上へ崩落し、通行の支障となっていることから法面の整備を行う。

#### ③ 林道不動滝線橋梁修繕事業

当該路線は、桑原西地区から樺平保健休養地を通り長野市大岡や麻績村へ通じる路線となっており、路線の途中には千曲市の市営水道の浄水場や水源地に繋がる林道もあり、地域の重要な路線に位置付けられており、橋梁は完成後 60 年以上経過し、経年劣化が予想される。

このため、平成 30・31 年度に橋梁 14 橋の点検診断（国費 50%）を実施し、補修が必要と診断された橋梁について補修工事を実施する。

#### ④ 林道古家線法面整備事業

当該路線は、大田原地区と桑原西地区を繋ぐ路線となっており、県道小峰稲荷山線を除く唯一の舗装路線である。

現在、地山がむき出しになっており、強雨の度に落石が林道上へ崩落し、通行の支障となっていることから法面の整備を行う。

#### ⑤ 林道権次郎線市道化事業

当該路線は、大田原地区から長野市へ抜ける生活道路の一部であり、近道となっている。

地域住民にとって生活道路として位置付けていることから、市道認定基準に合った構造（排水施設・土留め）に道路改良した上で市道へ格上げし管理を行う。

#### (4) いちご場線水路新設事業

当該地域は山間地に位置する高地にあり、特定農山村地域に指定されている。急傾斜地にある田畑では、大雨時に山や田畑からの水が道路（市道）を川のように流れ、道路を横断して近隣の田畑等へ溢れ出てしまい、耕作ができない等の支障をきたしている。

このため、道路沿いにU字溝を設置して、耕作地への水の流入を防ぐことにより耕作条件の改善を行う。

#### (5) 公民館（運動広場）駐車場整備事業

地域住民が地元の集会や会議等において公民館を利用しているが、高齢者の運転免許保有者が増えていることから自動車を利用する人が増えている。

このため、現状の駐車スペースでは不足しており、公民館に近接している運動広場の一部を駐車場として整備する。

#### (6) 合併浄化槽設置補助事業

当該地域は遠隔高地に位置し、公共下水道への取り込みは難しく、また小規模集落のため農業集落排水の事業化も不可能であり、市の下水道計画では計画外地域としたことから、合併浄化槽対応地区として各世帯個人で浄化槽を設置することとなっている。

しかし、当地域は辺地のため高齢者世帯が多いことから、多額の個人負担を伴う浄化槽設置は進まず、通常の補助制度では同様の浄化槽対応地区に比べ今後も普及率の向上は難しいと予測される。

こうした地理的状況を考慮し、辺地外の公共下水道等対応地域との格差を是正するため、設置世帯に対して、当該辺地地域独自の補助を行う。

### 3. 公共的施設の整備計画

平成31年度から平成35年度まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械 格納庫整備事業	千曲市	25,000	0	25,000	25,000
市道大田原中線 道路舗装工事		5,000	0	5,000	5,000
林道権次郎線 落石防止工事		4,000	0	4,000	4,000
林道不動滝線 法面整備事業		10,000	0	10,000	10,000
林道不動滝線 橋梁修繕事業		74,200	35,000	39,200	39,200
林道古家線 法面整備事業		8,000	0	8,000	8,000
林道権次郎線 市道化事業		50,000	0	50,000	50,000
いちご場線 水路新設事業		5,000	0	5,000	5,000
公民館(運動広場) 駐車場整備事業		5,000	0	5,000	5,000
合併浄化槽 設置補助事業		11,268	1,656	9,612	9,600
合計		197,468	36,656	160,812	160,800